

和歌山遠征

2018年シーズンの春季遠征、今年是和歌山県田辺市の「田辺スポーツパーク野球場」を拠点とし、3/24～31までの8日間行いました。田辺スポーツパークは、社会人野球のキャンプでも使用される外野人工芝のグラウンドで、また隣接する室内練習場も使わせていただくなど素晴らしい環境の中、朝から晩まで思う存分野球をすることが出来ました。連日天候にも恵まれ、選手たちも真っ黒に日焼けをしてきました。

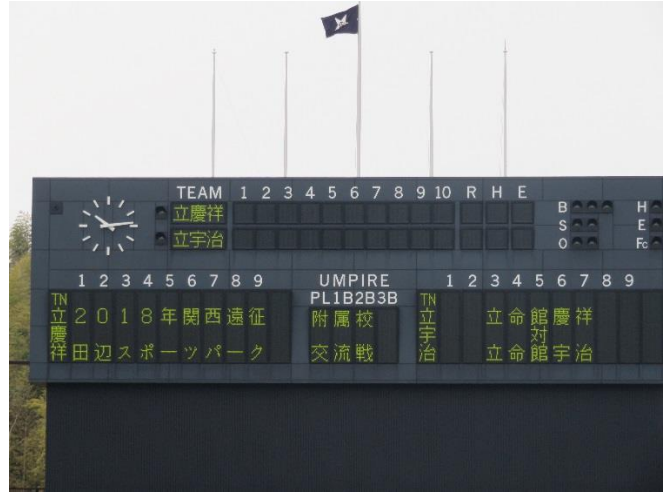
移動日を除いた7日間のうち、練習を4日間、OP戦を3日間行い、練習ではサインプレーの確認や実践形式の練習、紅白戦などを行い選手一人ひとりがアピールをしました。27日のOP戦初戦は、同じ附属校の立命館宇治高校と対戦しました。立命館宇治高校は甲子園に何度も出場する強豪で、立命館の附属校をリードする存在。昨秋も激戦区の京都でベスト4まで勝ち上がりました。試合前には選手同士で記念撮影をしたり、指導者間で意見交換をしたりと附属校同士で切磋琢磨していこうと話がありました。30日には昨秋大阪府大会3位の近畿大学附属高校、31日には京都の名門東山高校と試合をさせていただき、夏の100回大会に向けいい経験をさせていただきました。

いよいよ3年生最後のシーズン、昨秋は全道ベスト8と悔しい経験をしました。今年こそは甲子園に出場し校歌を歌うために、全員野球でチーム一丸頑張ってください。ご支援ご声援の程よろしくお願い致します。

田辺スポーツパーク野球場・室内練習



試合風景



※HP 一番下「フォトギャラリー」もご覧ください。